

流通BMS対応 JX手順通信ソフトウェア
 「CollaboLink JX-Client(コラボリンク ジェイエックスクライアント)」
 期間・本数限定の特別価格キャンペーンを実施

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:浅田 和則、以下キヤノンITS)は、流通BMS(※1)対応のJX手順通信ソフトウェア「CollaboLink JX-Client」の特別価格販売キャンペーンを実施します。

キヤノンITSは、流通BMS協議会(※2)の支援会員として、流通BMSの仕様に対応したソフトウェアの開発を行うとともに、技術仕様ガイドラインの維持・管理を行う技術仕様部会に参加する等、普及・推進にかかわる支援活動も積極的に行っています。

キヤノンITSが開発・販売を行う「CollaboLink JX-Client」は、流通BMSの通信プロトコルの1つ「JX手順」に対応した通信ソフトであり、その容易な操作性と高い相互接続性から、既に多くの企業に導入されています。2011年1月からは、キヤノンITSが日本ペリサイン株式会社と共同開発を行い「電子証明書」の自動取得・更新機能を盛り込んだ、「CollaboLink JX-Client」の新バージョンを発売開始する予定ですが(※3)、今回、それに先駆けて「CollaboLink JX-Client」の現行バージョン(Ver.1.4.1)を特別価格で販売するキャンペーンを実施します。

本キャンペーンでは、「CollaboLink JX-Client」と1年間の保守ライセンス「年間保守サービスパック(1年)」とをセットにし、特別価格にて提供します。本キャンペーンにより、システムの投資コストが課題で流通BMSの導入を行っていない企業の導入の障壁を大きく下げる事が可能となり、流通BMSの普及に貢献するものと考えています。

■ キャンペーン概要

<期間>

2010年11月24日(水)～2010年12月22日(水)弊社受注分まで

<価格>

	キャンペーン価格(希望小売価格・税別)	通常価格(希望小売価格・税別)
製品	CollaboLink JX-Clientと年間保守サービスパック(1年)セットで ¥9,800-	CollaboLink JX-Client ¥190,000-
製品		年間保守サービスパック(1年) ¥38,000-

<販売本数>

100セット ※期間中であっても100セットに達し次第、本キャンペーンは終了とします。

■ キャンペーン概要(詳細)

- ・ 購入後1年間は年間保守サービスを提供します。
 (サポートサービスを受けるためには、年間保守サービス契約が必要です)
- ・ 次年度以降は¥24,000 /年で保守サービスの更新が可能です。
- ・ 年間保守サービスの詳細ページ : <http://www.canon-its.co.jp/edi/support/seido.html>

※1「流通BMS」について

経済産業省が推進するEDIにおける次世代の標準仕様で、スーパーマーケットやドラッグストア、百貨店などの小売業と、問屋などの各種卸売やメーカーがインターネットを通じて商品の受発注、価格、在庫数といった取引情報や決済などの重要なデータのやり取りを行います。FAXや専用線を用いた従来のEDIより高速かつ強固なインフラでの通信が可能になり、標準化されたフォーマットにより、運用の簡素化と投資を抑えることができます。大企業での導入が進み、中小企業への普及も本格化しています。

※2「流通BMS協議会」について

正式名称: 流通システム標準普及推進協議会
<http://www.dsri.jp/ryutsu-bms/>

※3「2011年1月から発売予定の新バージョン」について

日本ペリサイン株式会社と共同開発の、EDIソフトウェアと電子証明書の自動取得・更新のオールインワンパッケージです。(<http://www.canon-its.co.jp/company/news/20100823edi.html>)

以下の新機能も追加し、さらに使いやすさと利便性が強化されています。

1. BMSクライアント証明書(日本ペリサイン社発行)の自動取得・更新機能
2. 伝送データの圧縮/解凍機能
3. XMLスキーマ/メッセージ管理画面
 - ・ 販売価格は¥120,000(税別)を予定 ※日本ペリサイン社BMSクライアント証明書付きは¥130,000(税別)
 - ・ 今回のキャンペーン商品のバージョンアップサービスは、保守サービス有効期間中であれば¥10,000で提供します。

※4「CollaboLink JX-Client」について

サーバーとクライアント間の通信を行うJX手順^(※※)のクライアント機能を実装しており、取引先のサーバーと直接、受発注と請求データの送受信が行えます。特別なサーバーシステムの構築を必要せず、PCとインターネットへの接続環境だけで、低コストで流通BMS環境を導入し、簡単に運用できる「運用機能(自動通信機能)」、「通信機能」、「XML変換機能」を1つにしたパッケージです。

※※JX手順:

財団法人 流通システム開発センターによって規定された、SOAP-RPCを基盤技術として利用したPULL型の通信プロトコル。流通BMSでも採用されており、JCA手順に代わるプロトコルとして、中小規模のEDIでの普及が見込まれている。従来のJCA手順のようにクライアント型とサーバー型の機能にわかれる。

Collabolink JX-Client製品ページ : <http://www.canon-its.co.jp/edi/jxc.html>